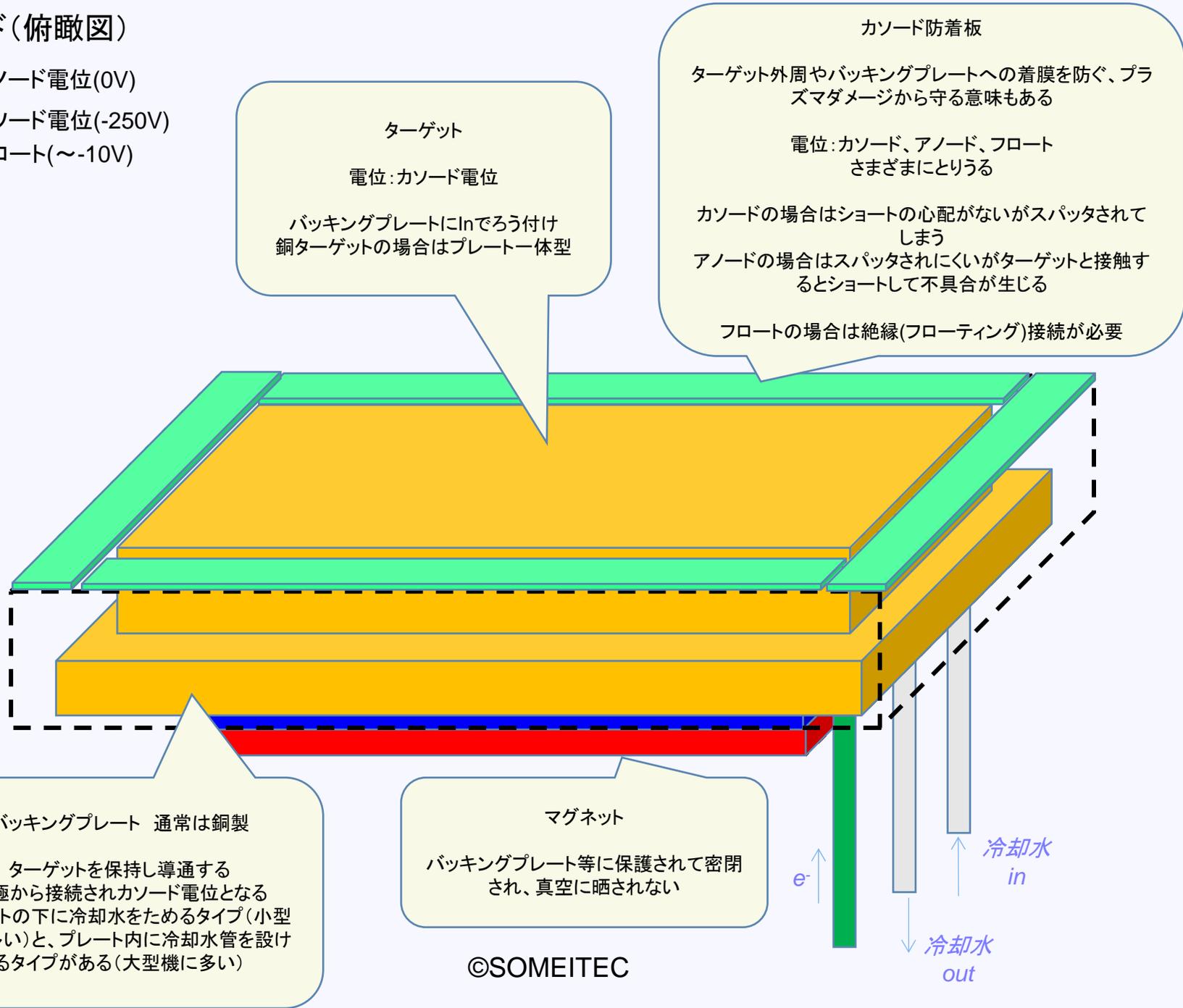


カソード(俯瞰図)

- アノード電位(0V)
- カソード電位(-250V)
- フロート(~-10V)



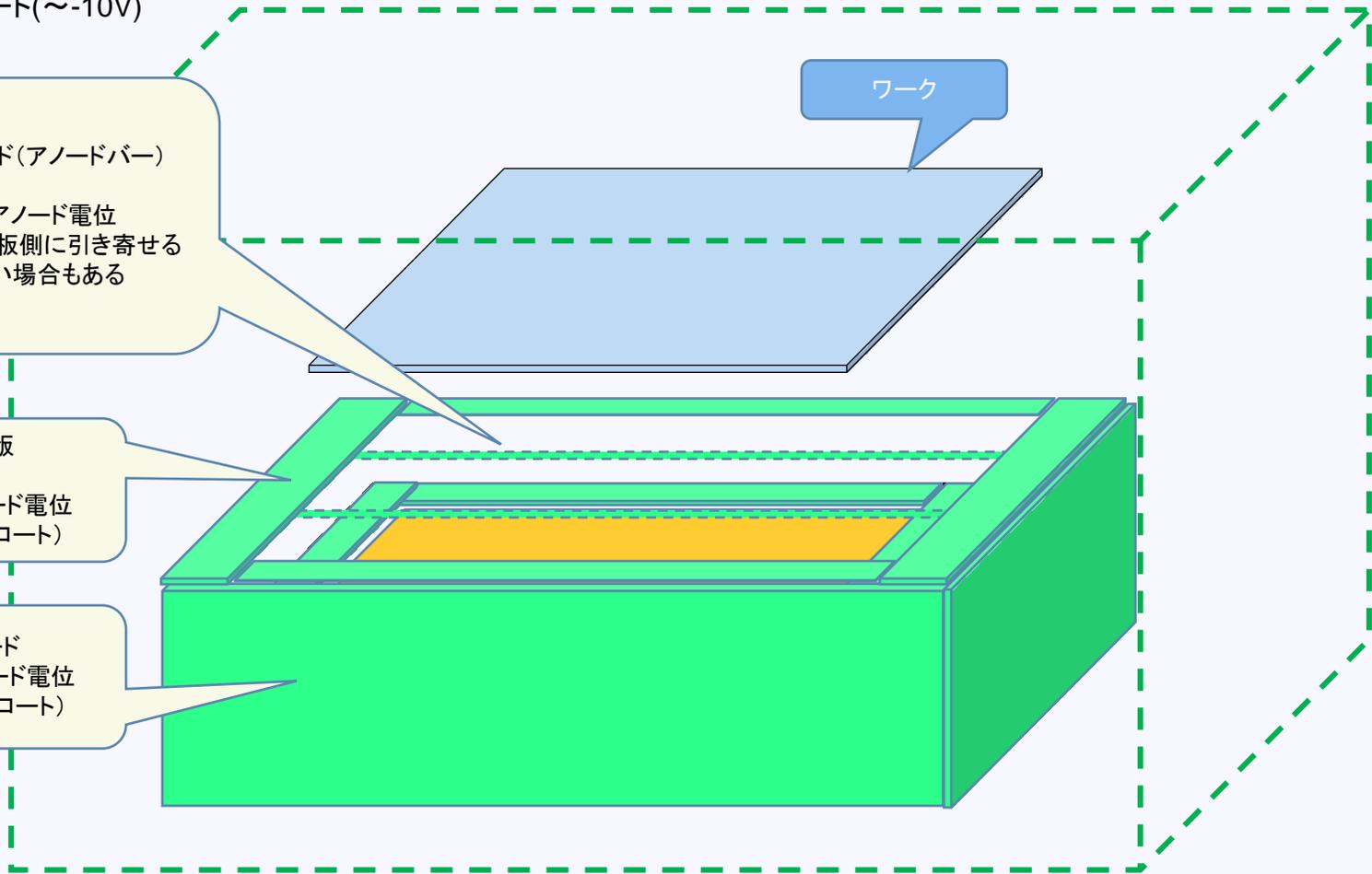
アノード(俯瞰図)

- アノード電位(0V)
- カソード電位(-250V)
- フロート(~-10V)

ロッドアノード(アノードバー)
電位:アノード電位
プラズマを基板側に引き寄せる
使わない場合もある

調整版
電位:アノード電位
(またはフロート)

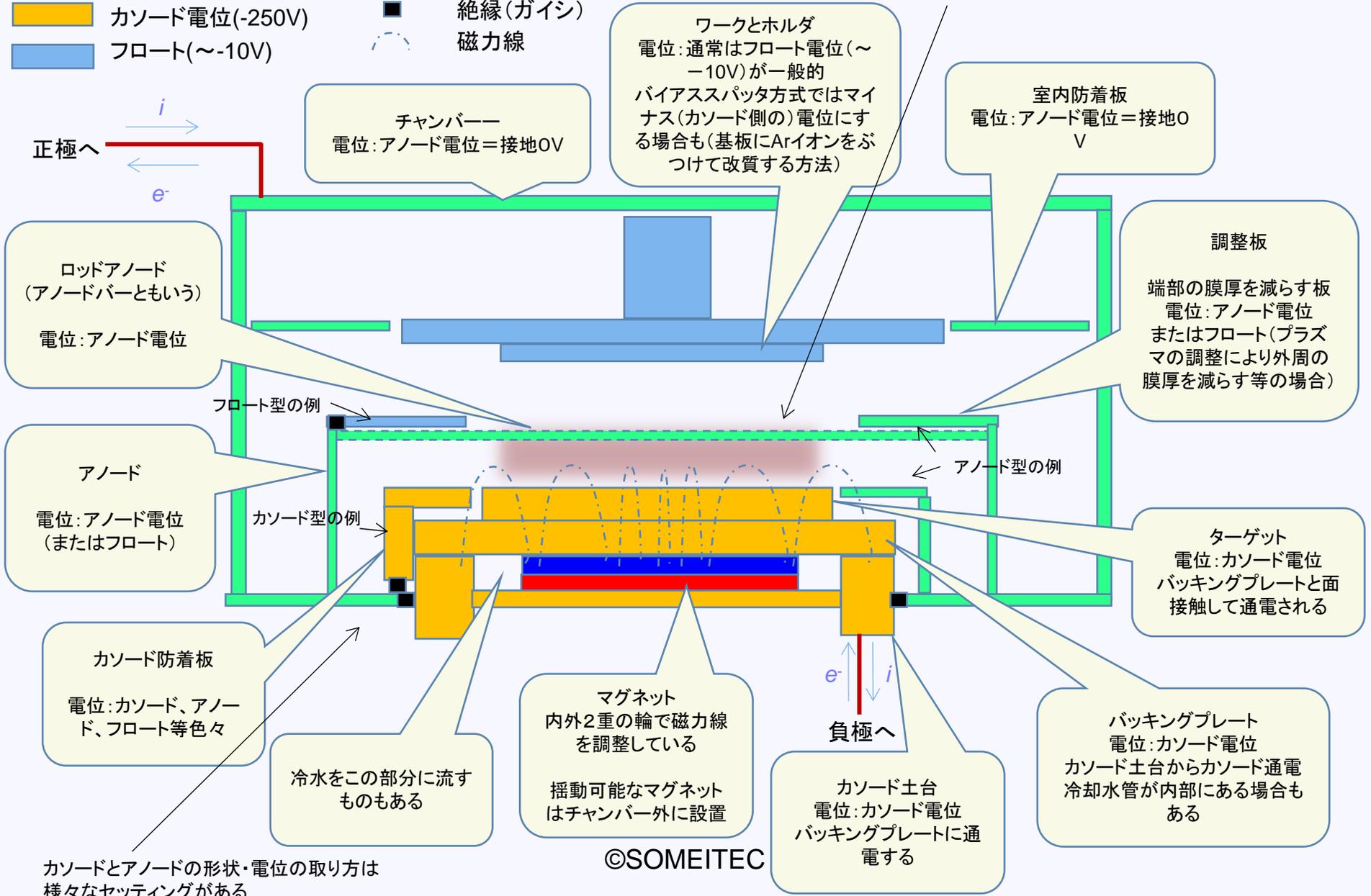
アノード
電位:アノード電位
(またはフロート)



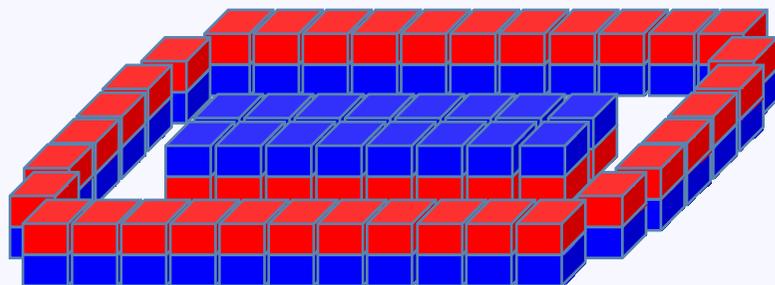
チャンバー内(断面図)

- アノード電位(0V)
- カソード電位(-250V)
- フロート(~-10V)
- プラズマ(~+10V)
- 絶縁(ガイン)
- 磁力線

プラズマはアノードとターゲット(カソード電位)の間で
磁場アシストによって集中発生する
..マグネットやアノードの設定でプラズマは変化する

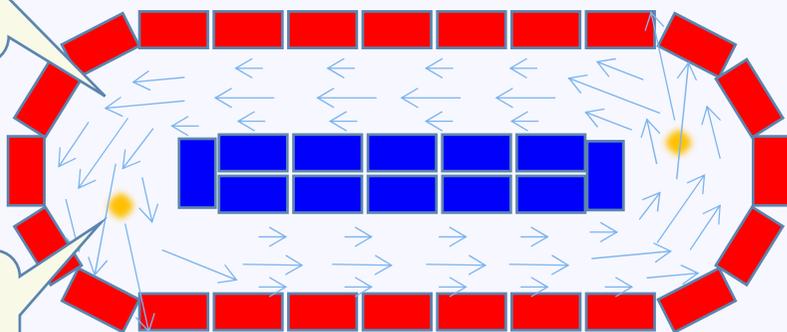


マグネトロン



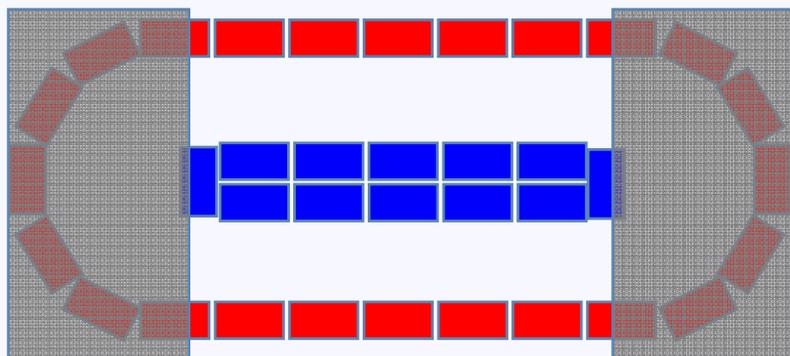
マグネット俯瞰図

コーナリングの際
磁力集中により
電子が加速して
いく



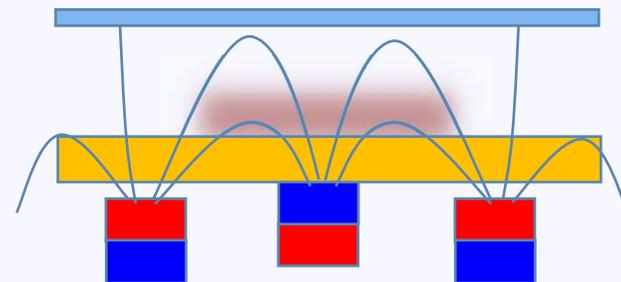
最加速点 =
エロージョン最深部

電子の磁場によるドリフトの速度ベクトル



遮蔽板(マグネットの上に金属板を置いて磁力集中を弱める)
コーナリング部のマグネットの数を減らす方法もある

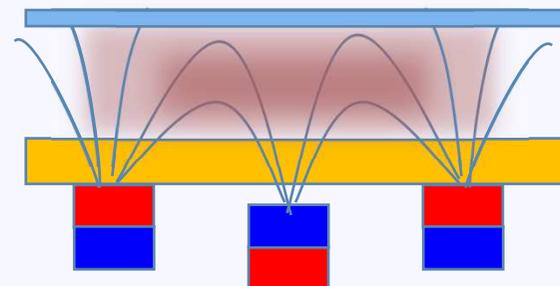
マグネット距離のバランス



断面図 バランス型



断面図 フラット配置



断面図 アンバランス型
磁力線が基板に伸びて、
プラズマが到達する